

第77回企画展

鳥の子育て

ージオラマで見る鳥の繁殖ー



2017

我孫子市鳥の博物館

2.11 sat. ▶ 6.25 sun.

【開館時間】午前9時30分～午後4時30分 【休館日】毎週月曜日(祝日の場合、翌平日)
【入館料】一般 300円 大学・高校生 200円 70歳以上、中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方(含付き添い1名)は無料 20名以上の団体は入館料2割引
【問い合わせ】千葉県我孫子市高野山234-3 ☎04-7185-2212 ポスターの鳥:オナガの親子

鳥の子育て —ジオラマで見る鳥の繁殖—

鳥にとっての子育ては、一年のうちで最も大事なイベントです。次の世代により多くの子孫を残すために、さまざまな戦略を持っています。この企画展では、鳥の博物館で収集した繁殖に関わるジオラマや剥製を展示し、鳥たちの巧みな子育ての様子を紹介します。実際に手賀沼周辺で見られる鳥の子育てを観察する際の見所についても紹介します。



ヒナを連れたタマシギ

つがい形成

雄は雌とつがいになるために、さまざまな行動をします。大きな声でさえずったり、求愛のダンスを踊ったり、餌をプレゼントしたりします。鳥の夫婦の関係はどうなっているのでしょうか？



ツバメの夫婦

営巣

鳥の巣は基本的に使い捨てで、動かせない卵とヒナを置いておく場所です。穴の中に巣を作ったり、草に隠して目立たなくしたり、集団で巣を作ったり…。

捕食されないためには、どんな工夫があるのでしょうか？



巣をつくるヨシゴイ

産卵と抱卵

全ての鳥は殻のある卵を産み、そこからヒナが孵ります。親は卵からヒナを孵すため、巣に座って温めます。様々な色と形の卵、一度に産まれる卵の数、自分で卵を温めない鳥など、卵に隠された秘密に迫ります。



コチドリ の 偽傷行動

ヒナの世話

ヒナが卵から孵ると、親鳥は急成長するヒナのために、餌運びに大忙しです。両親が子育てする鳥、雌だけが子育てする鳥、年上の兄弟が子育てを手伝う鳥など、様々な子育て戦略を見てみましょう。



キジの家族

見つけてみよう！身近な鳥の繁殖行動



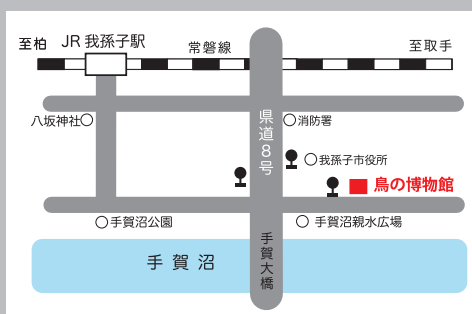
さえぎるオオヨシキリ



キジバトの巣とヒナ



ヒナを連れたカルガモ



●鳥の博物館へのアクセス

【公共交通機関】

JR常磐線我孫子駅南口から市役所経由のバスで「市役所」下車、徒歩5分(土日・祝日は博物館行きバスあり)*無料駐車場50台あり

【問い合わせ】

千葉県我孫子市高野山234-3
電話04-7185-2212



企画展記念スタンプをおしてね!